



アクセシビリティの設定方法 (ios 12版)

・視覚障害者がメールや電話をする時に、見えにくさを補うために設定することができる機能がアクセシビリティの中にはあります。

ここでは「常に設定しておくための設定方法」と「ショートカットを使う設定方法」の一部をご紹介します。

iPhoneやiPadを視覚障害者が使っている主なアクセシビリティの機能は？

「拡大」「音声」「色反転」

1) VoiceOver(音声) 2) ズーム機能(拡大) 3) 拡大鏡(拡大、色) 4) 色の反転(色)など使う方によって組み合わせて使う方もいれば、音声だけで操作をする方もいます。

設定 (ios12 iPhone 7での一例)

PRESENTATION

iPhone 常に設定する場合

「設定」→「一般」→「アクセシビリティ」→VoiceOver又はズーム機能などを選択

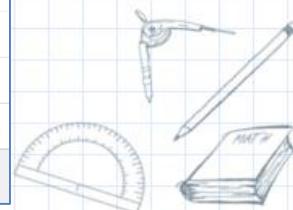
① 「設定」



② 「一般」



③ 「ショートカット」



設定 (ios12 iPhone 7での一例)

PRESENTATION

iPhone 使うときに設定する場合

「設定」→「一般」→「アクセシビリティ」→「ショートカット」→チェックする

① 「設定」



② 「一般」



③ 「ショートカット」



設定 (ios12 iPhone 7での一例)

PRESENTATION

iPhone Siriにお願いする場合

「設定」→「Siriと検索」
→「Hey Siri」を聞き取る/ホームボタンを押してSiriを使用をチェック

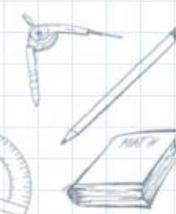
① 「設定」



② 「Siriと検索」



③ 「Hey Siri」を聞き取る
ホームボタンを押してSiriを使用





VoiceOver (ios12) 操作



PRESENTATION

設定

IOS12



三つの操作と指の数を組み合わせてiPhoneで
ジェスチャーすると、VoiceOver操作ができる

フリック



サッと指で払う動作

スワイプ



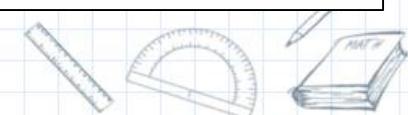
ずらして指を離す動作

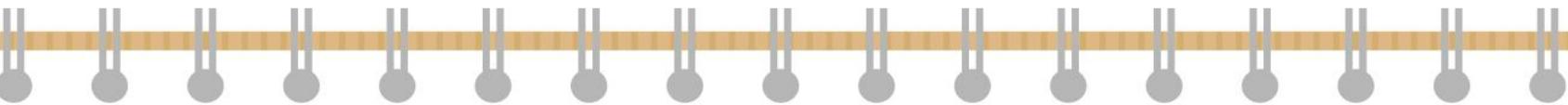
タップ



トンと指でひと押し

※画面ロックを解除するスライド操作がスワイプ





アクセシビリティのポイント

- ・アクセシビリティは、iPhoneやiPadに元々ついている機能なので、設定をすればいつでも、誰でも使える
- ・Voice OVERを設定したときには動作（使い方）が違うので「設定+操作練習」のセットで話すことがおススメ
- ・使い方を習いたいときは、スマートサイトの関連施設に紹介・相談ができる

こんなデータもあるんです・・・

視覚障害者の携帯電話・スマートフォン・タブレット・パソコン利用状況調査2013

携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンの利用状況（全般）
利用率（全回答者304人）

1. 携帯電話の利用者数は247人（81.3%）
2. スマートフォンは81人（26.6%），
3. タブレットは44人（14.5%）
4. パソコンは290人（95.4%）であった。

全盲の方が、ロービジョン者より携帯電話の利用率は高かった
(全盲：85.8%，ロービジョン：72.8%)。
ロービジョンの方が、全盲者よりスマートフォンの利用率は高かった
(全盲：22.6%，ロービジョン：33.3%)。

あとがき・・・

少しでも多くの視能訓練士の方にロービジョンケアに関心や関わってもらえるとありがとうございます。
パンフレットが必要な際には、印刷して使うか私にメール又は連絡をして頂ければ、送る事が出来ます。
ご質問がありましたら、ちょっとしたことでもご遠慮なく私にメールください

・視覚障害者の携帯電話・スマートフォン・タブレット・パソコン利用状況調査2013
http://dspace.lib.niigatau.ac.jp/dspace/bitstream/10191/27807/1/T_AF_Report_H26.pdf

Apple公式 アクセシビリティ
<https://www.apple.com/jp/accessibility/ipad/vision/>

トラストメディカル小泉
koizumi@trust-medical.co.jp
022-342-6780 090-3649-0345